

第2回九十九里浜侵食対策検討会議 開催結果概要

1 概要

日 時：平成29年3月15日（水）午後1時30分～3時30分

場 所：ポートプラザちば 2階ロイヤルII

出席委員：17名

内 容：報告事項

（1）第1回検討会議の主な意見について 議 事

- （1）侵食対策のメカニズムについて
- （2）これまでの侵食対策の評価について
- （3）今後の侵食対策の基本方針について
- （4）今後の侵食対策の進め方について

2 主な意見等

（1）侵食対策のメカニズムについて

- ・一委員より侵食対策のメカニズムについて説明があった。
- ・地盤沈下の対策も海岸にとって重要であると認識。

（2）これまでの侵食対策の評価について

- ・一宮で実施してきた養浜などの効果を把握した方が良い。
- ・ヘッドランドの近傍で砂浜ができて、中央部では砂浜が減る。どのように効果をはかるのかが疑問。

（3）今後の侵食対策の基本方針について

- ・ヘッドランドと養浜に限定するのではなく、人工リーフ、離岸堤などを複合的に使用することを考えてもらえるとありがたい。
- ・大目標は砂浜幅 40m の確保であるが、何々の海水浴場について等の目標を定めておかないと、何年後かに評価した時に、40m が守れたかどうかということだけで終わってしまうと思う。
- ・基本方針の中に生態系、景観に配慮することを記述していただきたい。
- ・自然保護を含めた議論は水産生物を守ることにつながる。
- ・堤防の位置を変えられないとして、そこから砂浜幅 40m を確保しようとするすると全体に影響を与えることから、堤防の位置を柔軟に変更することを考えていく必要がある。
- ・一番大事なのは予算だと思う。直轄化を目指しても良いのではないかと思う。
- ・基本方針に、目標年度、予算確保を記述するべきと思う。
- ・基本方針について合意が得られたことが確認された。

(4) 今後の侵食対策の進め方について

- ・緊急を要する箇所については、矢板による対策を考えていただきたい。
- ・コンクリート構造物による整備を極力控え、養浜の拡大なども含めて、早期に対策をお願いしたい。
- ・養浜材料は、系外からの材料は基本的に考えず、流入河川等を含めて、系内において確保することを最大限努力することをどこかに明記した方が良い。
- ・堤防をセットバックする、駐車場を陸側に移す等により、砂浜を確保できる場所もある。